

W28c

小型 JASMINE で拓くサイエンス

辻本拓司、郷田直輝、小林行泰、矢野太平、田村友範、丹羽佳人、増本博光、中島 紀(国立天文台)、山田良透(京大理)、志村勇樹、原 拓自(東大理)、梅村雅之(筑波大)、西 亮一(新潟大)、浅田秀樹(弘前大)、長島雅裕(長崎大)、對木淳夫、野田篤司、歌島昌由(SE 推進室/JAXA)、宇都宮真、安田 進、佐藤洋一、藤原 謙、小柳 潤(DE 部門/JAXA)、中須賀真一(東大工)、酒匂信匡(信州大)、ほか JASMINE ワーキンググループ同

小型 JASMINE は、銀河系バルジの形成・進化を解明することを最大の目的として掲げることができるが、それだけにとどまらず、巨大ブラックホール、コンパクト天体、系外惑星、恒星といった幅広い分野に大きなインパクトを与える成果が期待される。国内ではサイエンス WG が活動を開始し、具体的な検討を進めている。主な検討項目として、(1) 宇宙論的シミュレーションによるバルジの形成・進化、(2) 銀河系バルジの模擬観測、(3) 銀緯 0 度の Inner Disk Chemodynamics、(4) 天の川銀河の多重棒構造、(5) Central molecular zone における星団形成とその進化、(6) 巨大ブラックホールの合体成長とその痕跡、(7) Sgr A* 赤外フレアの観測可能性、(8) 激変星・X 線連星の連星軌道運動の分解、などを挙げる事ができる。本講演では、これらについての詳細な成果報告を行う。